

令和 5 年度飯山市美術館運営協議会（第 2 回）

資 料

ギャラリー展『北信濃伝統工芸展』(6/2～7/2)



関連イベント

- ・北信濃を代表する工芸品の紹介・工芸士による体験教室の実施(6/10～7/1)

各回3名～10名、各日1～2回 要予約(有料)

会場: 2F 伝統産業会館、飯山市美術館、仏壇通り

- ・彫金(角皿製作)
- ・彫刻(丸皿製作)
- ・蒔絵(絵皿製作)
- ・金箔押し(無料)
- ・小沼箒(小手箒制作)
- ・内山紙(はたき製作)
- ・竹細工(かご製作)
- ・あけび蔓細工(かご製作)

飯山仏壇 体験フェスタ
令和5年6/10(土) 10:00～15:00

お仏壇の町飯山、伝統的工芸品にも親近された飯山仏壇の町の様子を体験できます。

第3回

体験メニュー: 刻、箔、蒔、彫

会場: 飯山市伝統産業会館・飯山市美術館

協賛: 飯山仏壇事業協同組合事務局

お問い合わせ: 0269-62-4026

同時開催 北信濃伝統工芸展 (6/2～7/2) (土・日・祝)

定例展の工芸品や工芸作家の作品を一同に集め展示販売いたします。6/2(土)・7/2(日)は観覧無料です。また、目玉として各週末には工芸体験教室(有料)が開催され、熟練職人指導のもとあなただけの作品を作ることができます。またとない機会ですので要予約でご参加ください。

6/10(土)は飯山仏壇体験フェスタと同時開催。お申し込みは別途必要となります。当日の開催内容については、このポスターをご覧ください。

体験メニュー	講師	料金
彫金(角皿製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	10:00～12:30(各5名) 料 金3,000円
彫刻(丸皿製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	13:00～15:30(各5名) 料 金2,000円
蒔絵(絵皿製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	10:00～12:30(各5名) 料 金2,000円
金箔押し(無料)	飯山仏壇 金具(飯山町)	13:00～15:30(各5名) 料 金2,000円
竹細工(かご製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	10:00～12:30(各5名) 料 金2,000円
あけび蔓細工(かご製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	13:00～15:30(各5名) 料 金2,000円
内山紙(はたき製作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	10:00～12:30(各5名) 料 金2,000円
小沼箒(小手箒制作)	飯山仏壇 金具(飯山町)	13:00～15:30(各5名) 料 金2,000円

お問い合わせ先: 飯山仏壇事業協同組合事務局 0269-62-4026

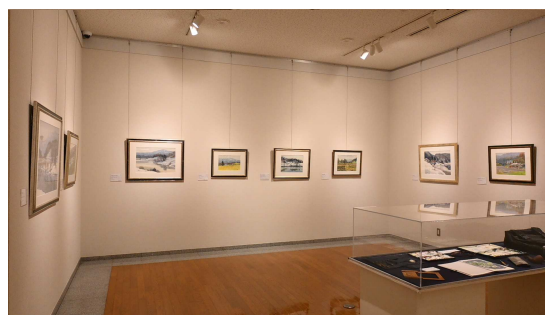
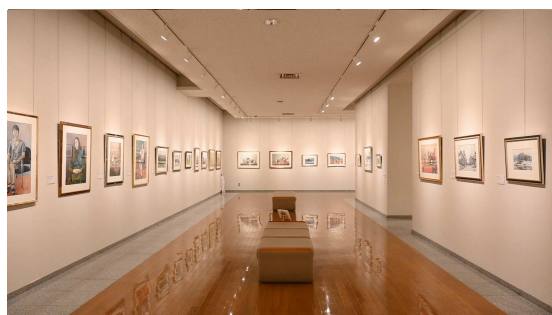
企画展「岩上隆静没後 10 年展－水彩画に込めた故郷への想い－」(R5.7.8～R5.9.10)
開催風景



▲ポスター

▲テープカット (7/8)

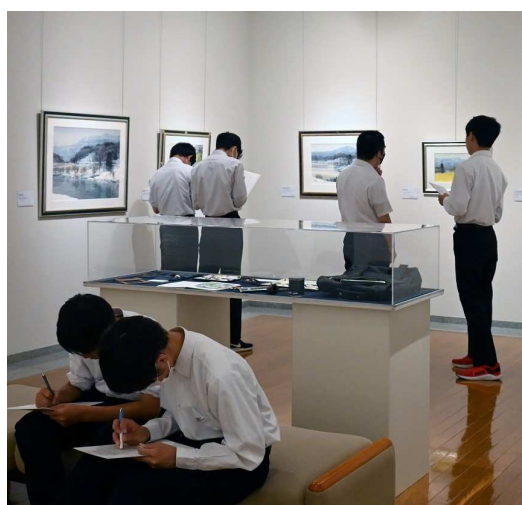
▼会場風景



▼『岩上隆静先生との思い出を語る会』（8/5）開催風景



▼市内の子どもの企画展見学風景



市バスを活用した企画展鑑賞会
岩上隆静没後10年展開催期間中の実施状況

実施日	学校名	学年	参加人数
7月19日	城南中	2-2	25
	木島小	6年	19
7月21日	城南中	1-3	33
8月24日	城南中	2-3	24
8月25日	城南中	3-2	32
	城南中	1-1	31
	城南中	3-1	31
8月29日	城南中	2-1	25
8月30日	木島小	4年	22
	城南中	3-3	32
8月31日	城南中	1-2	31
9月8日	秋津小	4年	12
	参加校3校	合計人数	317



岩上さんの没後10年を記念する企画展のテープカットが

飯山市美術館で企画展「岩上隆静没後10年展」が始まり、8日、テープカットが行われた。岩上隆静さんは1930年飯山市秋津生まれ。地元小中学校で教鞭をとりながら、画業に専念するため途中、教職に専念する前後から晩年にかけて再度、精神的に活動に取り組んだ。北信濃の風景を描いた水彩画を中心に作品製作に打ち込み、透明水彩による瑞々しい色使いが人々を惹きつけてきた。93年から水彩画サークル「みずる会」を主宰。2013年、83歳で逝去。今回企画展では、個人に所蔵される岩上さんの作品を中心に、北信濃の風景画を始め、人物画、静物画など、100点の作品が一堂に会して、岩上さんの画業を振り返る。

8日、同美術館ロビーで行われた開会式で、岩上さんの妻、敦子さん(87)は「隆

風景画は「風を描くこと」

飯山市美術館「岩上隆静没後10年展」が始まる

静が絵を描きに出かけ、上手く描けた時には、神様に付き添われたからとよく良い絵が描けた」と言っていた。今回展示される作品は、神様に付き添われた作品ばかりなら良いが、ゆつくりと見ていただければいい」とあいさつ。また、「風景画は風を描くこと」という隆静さんの言葉や、亡くなる1週間前まで続けてきた「みずる会」の教室が何よりの楽しみだったことなど、岩上さんの画業への想いが紹介された。

企画展「岩上隆静没後10年展」は9月10日(日)まで続く。午前9時30分～午後5時まで開館し、月曜日は休館。入場料は大人300円、小中学生200円。また、岩上さんと親交のあった人たちが岩上さんとの思い出を語ってもらう「岩上隆静先生との思い出を語る会」を8月5日、同館ロビーで開く。事前申し込み不要で参加できる。問い合わせは飯山市美術館(☎0269・62・1501)まで。

「紹介したい作品」を発信

飯山市美術館 小中生対象に企画展鑑賞会

飯山市美術館は美術館教育普及活動の一環として、7月19日から小中学生を対象とした企画展鑑賞会を始めた。これまで同美術館での美術作品鑑賞のネットワークにもなっていた交通手段の確保に、送迎バスを出し利便を図る。19日の城南中2年2組、

木島小6年生から始まった鑑賞会は、今月8日オープンした「岩上隆静没後10年展」水彩画に込めた故郷への想い。の作品鑑賞。21日には城南中1年3組の30人が訪れた。岩上さんと絵を通じて交流のあった城南中美術教諭、青木勇治先生が引率し、展示された作品の中から、みんなに紹介したい作品2点を選び、その良さを記入するアンケートをとった。作品選びに際しては「光」「空気」「透明感」「遠近感」「構図」など、美的要素を表す語句を使用する条件が付けられた。



「紹介したい作品」を探し、鑑賞学習する中学生

2023年7月15日 北信濃新聞

2023年7月20日 北信濃新聞



岩上さんの水彩画が並ぶ会場

淡い色合い 並ぶ北信濃の風景

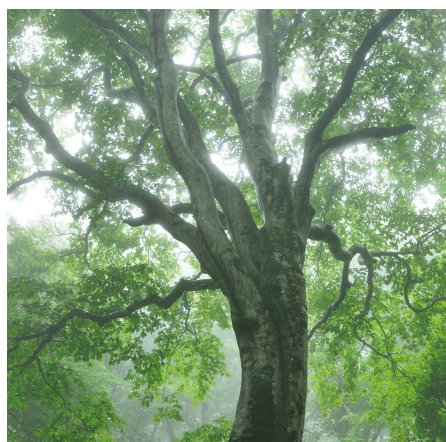
飯山出身画家・岩上隆静さん「没後10年展」飯山市美術館は秋津村(現飯山市)出身で2013年に82歳で亡くなった画家、岩上隆静さんの「没後10年展」を同美術館で開いている。ゆかりのある北信濃や千曲川沿いの風景を題材にした水彩画など計100点を紹介。5日、岩上さんと親交のあった人たちによる「思い出を語る会」も同館で開く。

岩上さんは武蔵野美術大学油絵科(東京)を経て、帰郷後、画家活動の傍ら地元中学校で美術を教えるなどした。35歳でいったん教職に専念したが、退職する前後から再び絵に集中するようになった。市美術館長の井端伸介さんは「岩上さんは光や水の表現が得意で、千曲川に思い入れがあった」と説明。会場には霧のかかった千曲川や、雪の積もった集落などを淡い色合いで表現した作品が並んだ。岩上さんが使っていた画材道具なども展示した。

9月10日まで。入館料は一般300円、小中学生200円。月曜休館。5日の語る会は午後2時から。事前予約不要。岩上さんの弟子や友人らがエピソードを話す予定。

2023年8月5日 信濃毎日新聞

企画展「星野秀樹写真展－木々の集いに誘われて－」（R.5.9.16～R5.11.26）開催風景



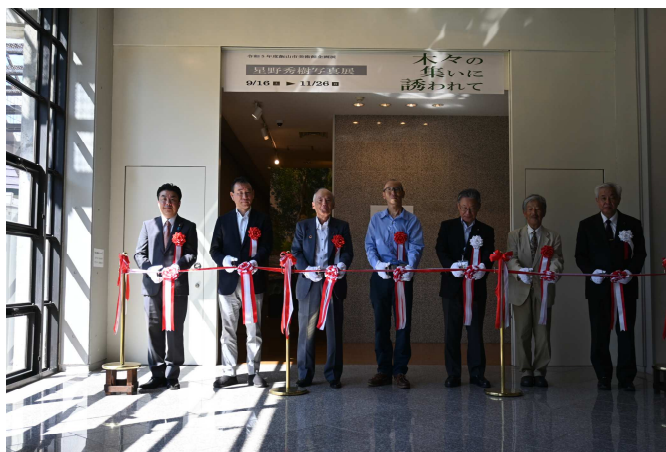
2023年
9月16日(土)～11月26日(日)

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日：休館日（ただし、9/18・10/9は開館し、9/18・10/10は閉館）
観覧料：大人200円（200円）、小中学生200円（100円）
※1）内は20名以上の団体料金
主催：飯山市芸術委員会
交通：JR飯山駅下車徒歩約10分
上野原の散歩道沿いのICより約10分

飯山市美術館 | 長野県飯山市大字飯山3-436-1
TEL: 0269-62-1202

木々の
集いに
誘われて

星野秀樹 写真展



▲ポスター

▲テープカット (9/16)

▼開会式当日（9/16）の様子



▼会場風景



▼ギャラリートーク『私的写真論 森を撮る楽しさ、難しさ』（10/21）開催風景



▼市内の子どもたちの見学風景



市バスを活用した企画展鑑賞会
星野秀樹写真展開催中の実施状況

実施日	学校名	学年	参加人数
9月26日	木島小	5年	18
9月28日	飯山高校スボ科	1年	17
9月29日	飯山高校探求科	1年	29
	飯山高校普通科	1年	28
11月22日	戸狩小	5年	18
	参加校2校	合計人数	110

星野秀樹写真展 新聞掲載記事

木々の集いに誘われて

飯山市美術館

星野秀樹さん写真展

飯山市在住の写真家・星野秀樹さん（55・岡山羽広山）の作品展「木々の集いに誘われて」が飯山市美術館で開催されている。



会場には大型タペストリー作品も展示されている

星野さんは福留県に生まれ、神奈川県で育ち、同志社大学に入学。チベットや中央アジアの山岳地帯に参加し、1999年に写真家として独立。剣岳や黒部五ノ湖を中心に活動し、加藤別荘さんと共に米国のロングトレイルも取材した。飯山市には、なぐら高原、森の家に取材、訪れたところをきっかけに、個人的にも訪れるようになった。山には異なる「多様な自然をインスピレーションとして、自分の森を探して、里に暮らしながら森に生活スタイルを求めて、2010年から飯山市岡山地区の柄山を活動拠点とするようになり、15年には森とともに同地区の羽広山に移住。雪深い、プナの森が広がる鍋倉山の麓で暮らしている。

今回の展示では森と自分たちの暮らしを会場に再現するうちに企画、プナの存在感を表したような大型のタペストリーと大小のプリント写真が展示され、中央、顔あふれるアップ写真には雪深い、自然豊かな山並しも展示されている。

星野さんが語る森、写真論

10/21ギャラリートーク

会期は10月26日まで、会費は無料。入館料は10月21日午後2時から、料（大人300円）が必要。問い合わせは同館まで。62-1501へ。

「豊かさ」を感じさせてくれる写真展

星野さんの作品は森の外ではなく、内から写し撮ったように感じられる写真が多く、森や木々の息づかいが伝わってくる。何が写っているのか分からず、何度も凝視してしまう作品には文章も添えられていて、普段見ることができない森の営みを垣間見た気分になる。また里の暮らしに暮らす一家の写真からは暮らしの豊かさや温かい絆が伝わってきて、人間の営みについて考えさせられる。

（宮崎正仁）

2023年9月22日 北信ローカル

信濃毎日新聞

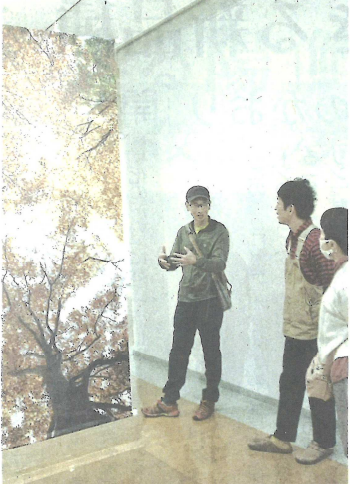
第三種郵便物認可

飯山のブナの森

五感で向き合う

飯山市出身で飯山市の羽広山集落に移住した写真家・星野秀樹さん55が、フォトエッセー「雪のくに 移住日記」プナの森に暮らす」を出版した。森の表情を切り取った写真を織り交ぜつつ、集落での生活をつづった。市美術館で星野さんの写真展（市教委主催）が開かれており、21日にギャラリートークもある。

山好きで、関西の大学では山岳同好会に所属。中国チベット自治区の8千峰シヤパンマに挑んだことから、1999年に独立してフリーカメラマンとなり、剣岳や黒部川を中心に活動を続けてきた。



来場者に作品を説明する星野さん（中央）

初めて飯山を訪れたのは2003年。特に鍋倉山に引かれた。通ううちに移住を考えるようになり、10年から家を借りて神奈川との2拠点生活を開始。気持ちは高まり、その5年後に家族と移住した。

「森の木の写真撮るのは難しい。1本の木を何回見ても違う木のように思える。目だけがなく、沢の水を飲んだり、葉っぱを口にいたりして、五感で撮っている」と星野さん。A5判、172ページ、税込み2,000円。通信販売サイト「信毎の本ネットショップ」などで購入できる。

写真展は10月26日まで。入館料は大人300円、小中学生100円。月曜休館。ギャラリートークは午後2時からで、入館料が必要。問い合わせは市美術館（62-1501）へ。



「雪のくに 移住日記」プナの森に暮らす

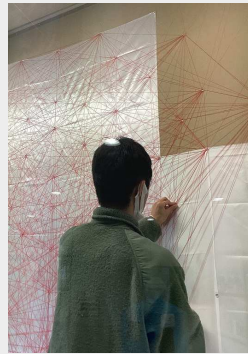
2023年10月17日 信濃毎日新聞

夏休み体験教室「押し花と和紙を使ったアート作品を作ろう」(R5. 8. 2) 開催風景

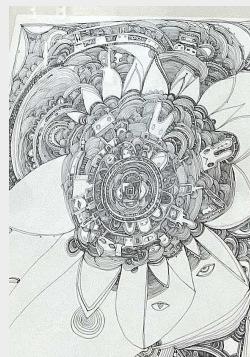


R5市民ギャラリー利用状況（一部）スナップ

市内在住の個人 主に赤い糸で制作された抽象作品



市内在住の個人 抽象絵画とオブジェ



市内在住の個人 お孫さんのために手づくりしたヴァイオリンなど



市内のグループ コウゾの栽培から作った和紙によるインスタレーション作品



寄付受け入れ作品 資料



燕子花 長谷川青澄



桔梗 長谷川青澄



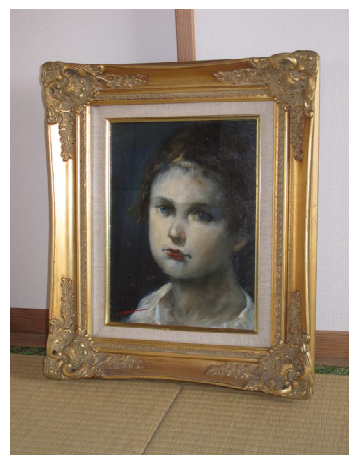
牡丹 長谷川青澄



薔薇 長谷川青澄



(仮) 少年 鷲森秀樹



(仮) 少女 鷲森秀樹

令和5年度 月別利用状況

上段＝入館者数・下段＝入館料

飯山市美術館・伝統産業会館

月	個人		団体		共通個人		共通団体		4館共通				有料入館合計	無料入館		総入館合計	累計	備考
	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	団体大人	団体小中		大人	小中			
4月	18	4	0	0	12	0	0	0	13	0	0	0	47	393	14	454		
	5,400	800	0	0	2,880	0	0	0	3,120	0	0	0	12,200					
5月	39	0	0	0	28	0	0	0	30	0	0	0	97	37	0	134	588	
	11,700	0	0	0	6,720	0	0	0	7,200	0	0	0	25,620					
6月	54	0	2	0	12	8	0	26	23	0	0	97	222	305	48	575		
	16,200	0	400	0	2,880	1,280	0	2,080	5,520	0	0	7,760	36,120				1,163	
7月	116	0	3	0	19	0	2	0	27	0	0	0	167	176	80	423		
	34,800	0	600	0	4,560	0	340	0	6,480	0	0	0	46,780				1,586	
8月	287	13	3	0	22	1	0	0	22	0	0	0	348	187	248	783		
	86,100	2,600	600	0	5,280	160	0	0	5,280	0	0	0	100,020				2,369	
9月	285	0	10	1	19	0	0	317	40	1	0	0	673	541	243	1,457		
	85,500	0	2,000	100	4,560	0	0	25,360	9,600	160	0	0	127,280				3,826	
10月	220	1	6	0	17	0	0	0	48	0	0	0	292	453	233	978		
	66,000	200	1,200	0	4,080	0	0	0	11,520	0	0	0	83,000				4,804	
11月	202	2	1	1	43	1	0	0	32	0	0	0	282	166	172	620		
	60,600	400	200	100	10,320	160	0	0	7,680	0	0	0	79,460				5,424	
12月	30	0	0	0	5	0	1	0	6	2	0	0	44	11	1	56		
	9,000	0	0	0	1,200	0	170	0	1,440	320	0	0	12,130				5,480	
1月	27	1	0	0	15	0	0	32	10	1	0	0	86	20	15	121		
	8,100	200	0	0	3,600	0	0	2,560	2,400	160	0	0	17,020				5,601	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				5,601	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				5,601	
合計	1,278	21	25	2	192	10	3	375	251	4	0	97	2,258	2,289	1,054	5,601		
	383,400	4,200	5,000	200	46,080	1,600	510	30,000	60,240	640	0	7,760	539,630					

H20から月別入館者数推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	
4月	885	827	933	633	630	970	780	975	825	725	693	759	42	381	75	454	
5月	515	505	425	821	341	504	620	722	354	275	321	336	38	101	148	134	
6月	349	215	256	454	432	455	269	777	556	169	146	173	68	64	247	575	
7月	1,033	464	655	753	579	510	903	459	377	266	354	279	106	152	731	423	
8月	521	152	849	731	844	716	834	494	303	1409	306	287	170	379	506	783	
9月	595	617	978	961	787	513	822	917	828	2968	1389	712	383	238	655	1457	
10月	2,735	2,372	2,950	2053	1608	1600	1189	1429	1422	2402	735	1378	836	1023	1527	978	
11月	1,070	506	723	393	483	563	486	514	496	1012	288	547	296	184	646	620	
12月	80	196	176	39	139	238	171	137	163	73	139	184	96	369	65	56	
1月	61	57	60	178	63	63	118	190	109	106	89	274	49	21	143	121	
2月	114	65	70	138	179	151	120	206	149	83	132	251	172	1	90		
3月	77	112	53	146	269	215	452	199	194	159	296	97	136	99	100		
合計	8,035	6,088	8,128	7300	6354	6498	6,764	7019	5776	9647	4888	5277	2392	3012	4933	5601	
入館者内訳(人)				H9～累計		35,905	42,403	49,167	56,186	61,962	71,609	76,497	81,774	84,166	87,178	92,111	97,712

大人	1,024	684	1,142	1127	1282	1104	1199	1009	931	3376	662	893	396	494	1137	1278
小中	32	16	32	22	22	23	51	30	17	141	29	13	16	8	27	21
大人団体	716	699	975	592	337	276	179	202	270	238	11	107	13	44	55	25
小中団体	210	251	299	231	278	114	112	102	122	114	196	129	1	30	23	2
無料	3,866	2,739	3,789	3532	3156	3235	3006	3390	3182	4275	2605	3022	2392	1742	2546	3343
大人共通	856	561	640	557	556	337	258	408	230	288	261	221	177	132	150	192
小中共通	22	45	14	24	23	7	11	18	20	3	11	14	2	3	7	10
大人団体共通	271	361	343	398	247	96	131	221	42	122	69	156	19	39	4	3
小中団体共通	1,038	732	894	817	453	170	460	349	262	386	378	339	390	332	423	375
4館共通大人						1030	993	1227	664	643	496	352	200	185	222	251
4館共通小中						24	41	27	13	8	22	5	5	3	6	4
4館共通団体大人						82	113	36	43	15	148	26	25	0	0	
4館共通団体小中						0	210	0	0	38	0	0	0	0	0	97

入館料合計	815,870	635,070	859,570	754,540	699,550	779,300	820,540	830,510	604,150	1,382,410	480,290	503,420	367,940	271,830		
開館日数	299	300	299	273	300	299	305	299	302	295	300	284	278	265		

※R1年度 展示替えの為休館 21日間

台風19号による避難所開設による休館3日間

※R2年度 コロナ感染拡大防止の為臨時休館4/17～5/17(27日間)

※R3年度 コロナ感染拡大防止の為臨時休館1/27～3/6(34日間)

令和6年度 飯山市美術館企画展スケジュール(案)

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

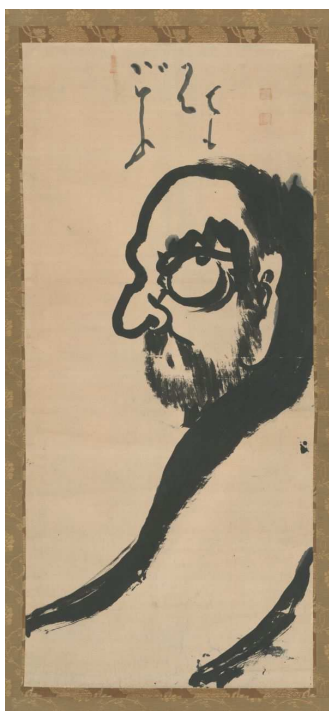
3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 企画展(1)「(仮称)白隠禅師複製画展」(4月20日～6月9日)
- 企画展(2)「(仮称)猪瀬清四郎彫刻展」(6月15日～9月23日)
- 企画展(3)「長野県立美術館移動展」(9月28日～10月13日)
- 企画展(4)「(仮称)長谷川青澄没後20年展」(10月19日～12月1日)
- ※ 企画展「思い出の学校展」は令和7年度(9月頃～)に開催

- 休館日(毎週月曜日、祭日の場合はその翌日、年末年始12/29-1/3)
- 臨時休館日(企画展開催に伴う展示替え)
- 飯山市民芸術祭(4/13-4/14、市民の作品展示、入館無料)
- 学びのエリア秋まつり(入館無料)

【その他】ギャラリー「奥信濃伝統工芸展」を開催する場合、8/18から9/16の期間内で調整する。



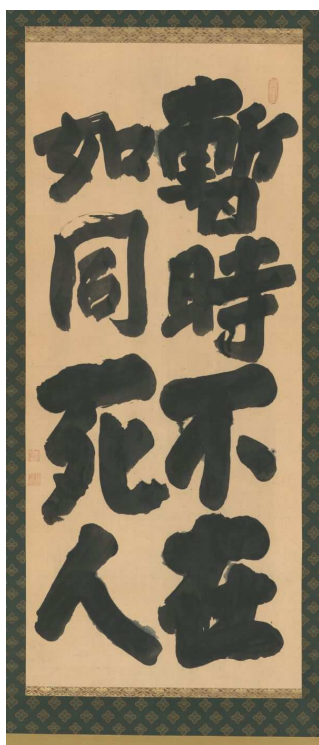
達摩像 白隠慧鶴筆
128.0×56.0 cm
オリジナルは永青文庫所蔵



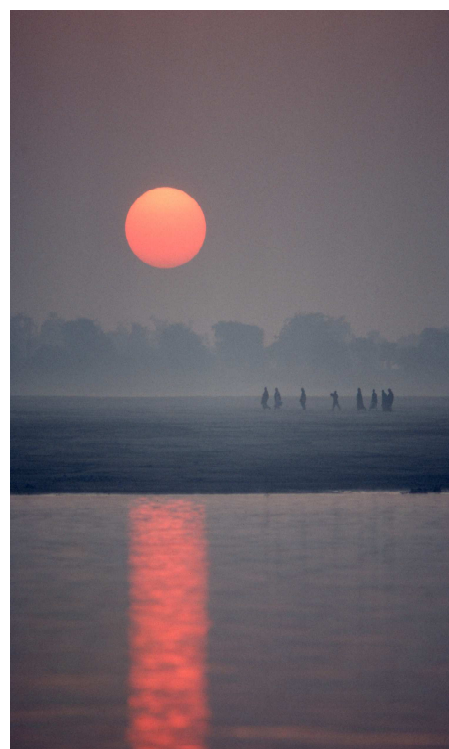
楊柳観音 白隠慧鶴筆
129.7×60.4 cm
オリジナルは永青文庫所蔵



大灯国師 白隠慧鶴筆
128.5×57.0 cm
オリジナルは永青文庫所蔵



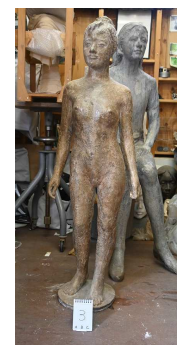
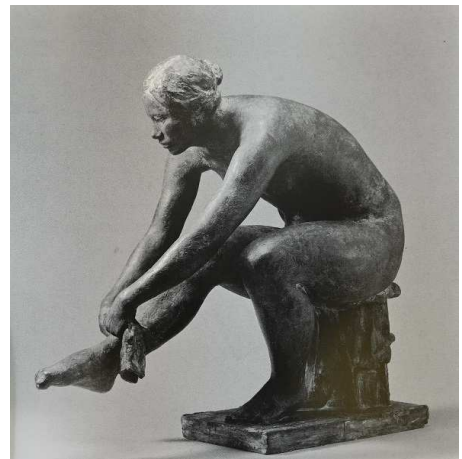
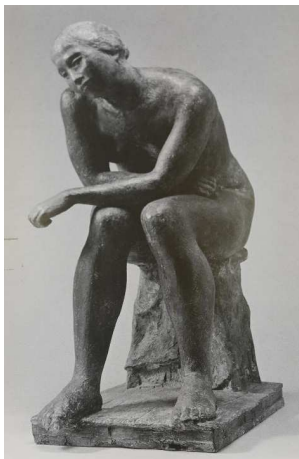
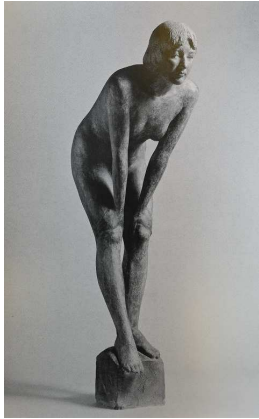
暫時不在 白隠慧鶴筆
127.0×54.3 cm
オリジナルは永青文庫所蔵



夜明けのガンジス 丸山勇撮影

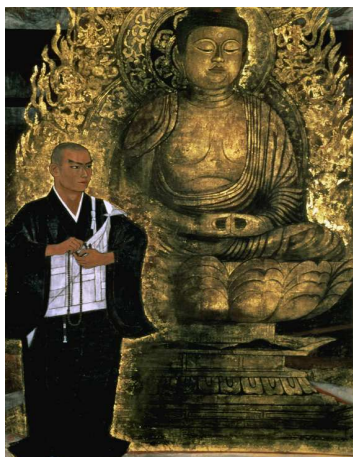
猪瀬清四郎彫刻展 作品資料

猪瀬清四郎作の等身大人体彫刻の一部。



長谷川青澄没後 20 年展 作品資料

長谷川青澄院展出品作品の一部



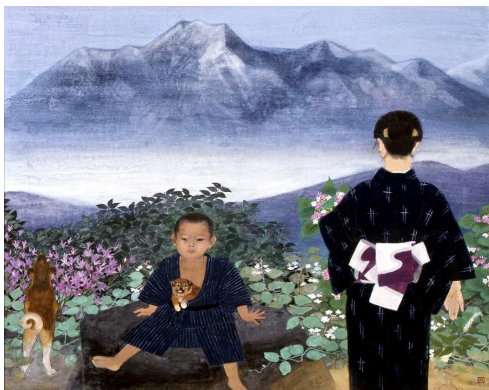
僧 親鸞 1996 年



日想観 1975 年



落西空也滝 1995 年



母なる山 妙高 2000 年



雪国 1945 年頃



良夜 無憂華の歌人
2003 年



豆腐屋
1962 年



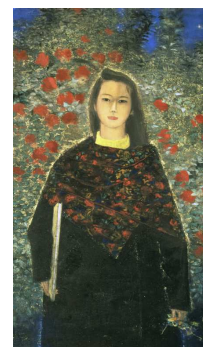
河内
1984 年



河内
1980 年



琉髪
1991 年



夕月 (奥信濃)
1994 年



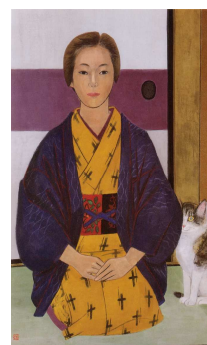
ひなげし咲く
1997 年



初恋 (藤村詩集より)
2000 年



月冴ゆ
2002 年



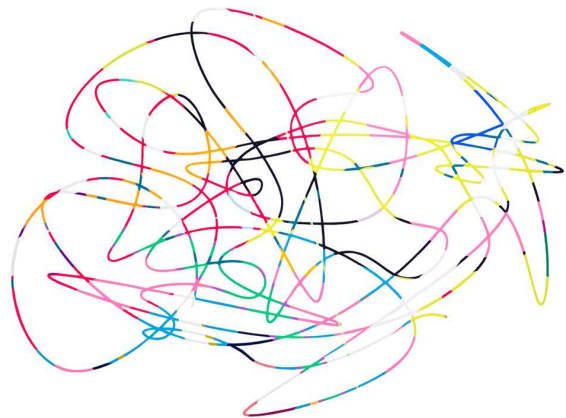
去年今年
2001 年



大原女
2004 年



a lot of bubbles 43.5×84.5 2024



コンパスを握り締め 77.5×108 2024



7秒前くらいの君 43×38 2023



pageant #13 24.2×41 2022



水の底の三角定規 162×130.3 2022



森の王さま 170×162 2017

冬耳展

Fuyuji solo exhibition
ステップは奇妙なままでいい

2023 年 6 月 10 日 (土) ~ 7 月 2 日 (日)
11:00-19:00



M-MARGINAL
GALLERY

蒲生茶廊zenzaiマルヤガーデンズ店内併設
マルヤガーデンズ7F 営業時間 11:00~20:00 (不定休)
〒892-0826 鹿児島県鹿児島市呉服町6-5 7F 入場無料
お問い合わせ 099-248-9369 / www.marginal-gallery.com



”雀のアンタッチャブル”

43x39.5(cm) acrylic, wood panel

2023

冬耳展

ステッ プは奇妙なままでもいい

私の作品は色と形による色面構成を主体としたものです。絵の具は原色や蛍光色のような彩度の高い色を好んで用いており、配色もまた鮮やかな組み合わせによるビビッドな視覚効果を意識しています。形は単純なストロークのような線や幾何学的或いは不定形なフォルムといった抽象性の強いものから、風景や植物、臓器のような具象的なもので様々です。色彩を落としたり込んだこれらの無機質・有機的なフォルムやストロークの多重構造により画面が構成されています。

私たちの価値観は経験や既成概念、環境や土着の文化など様々な要因から形成されています。絵画作品の表層に現出する視覚情報は、そのような個人的、主観的なフィルターを通してことにより観る人それぞれに様々な感覚を想起させるでしょう。ではこのような価値観を踏まえずに作品と対峙した時、私たちは色や形、その組み合わせに何を感じるのでしょうか？

近年は特に“人と自然の共生”をテーマとし、私が生まれ育った日本に古くから育まれてきた自然観や原始信仰とそこから派生した様々なイメージを源泉として制作に取り組んでいます。文明の発展は社会を拡大させ、様々な思想や価値観を生み出して来ました。国境や人種の違い、宗教観、その有り様はとて複雑で多様性に富んでいます。もしこれらの垣根を超えたところに、ある種の共通感覚のようなものがあるならば、それは根源的に人の心を揺り動かす何かなのではないでしょうか。それは時には“美しさ”として敬われ、時には“畏怖”として崇められ古来より世界に存在したと思います。

私の中には日本的な考えや価値観が根付いています。が、その深く核となる部分に潜むどんな人種や時代の人にも伝わるリアリティを伴った存在を描きたいと思っています。私はその手がかりが「人と自然の共生」の中に沈んでいるのではないかと考えています。それは時には絶対的なものとして、またある時には親しみを感ずる身近なものとして世界のあらゆるところに存在するべきものなのはずです。

冬耳



冬耳 fuyuji

profile

1976 京都府生まれ
1999 龍谷大学経済学部卒業
2001 大阪美術専門学校芸術工芸学科絵画専攻卒業
2002 “冬耳” 名義で作家活動を始め

solo

2022 「colorful」 (Spectrum Art Gallery & Lab / 大阪)
2019 「where anyone can reach」 (RBTxCO studio / 大阪)
2018 「物語は風になる」 (Gallery OUT of PLACE NARA / 奈良)
2016 「ドアを開けてよ」 (AIR 南山城村 / 京都)
2015 「from depth」 (2kw gallery / 大阪)

group show & art fair

2023 「ART FAIR TOKYO」 (東京国際フォーラム / 東京)
2022 「チャリティーオークション展」 (‘18’ 21) (+1 art / 大阪)
「みかのほら〜と」 (やぎや / 京都)
「HOSPITAL ART」 (‘19’ 18) (江之子島文化芸術創造センター / 大阪)
「冬耳 × タイ・ラツヤー・未知との遭遇」 (2kw gallery / 滋賀)
「公然秘密基地」 (‘21’ 20) (Anatomy of Hearing LUCUA OSAKA / 大阪)

2021 「A bientôt じゃ、またね。」 (Gallery OUT of PLACE TOKIO / 東京)
「冬耳・森 茜 二人展 - 世界は虹に溶けてゆく -」 (+1 art / 大阪)
2020 「3331 Art Fair 2020」 (3331 Arts Chiyoda / 東京)

「とおのおと」 (当尾の郷会館 / 京都)

2019 「Chemical Reactions 4」 (Space 31 / 兵庫)

「ART BUSAN 2019」 (釜山 / 韓国)

「Asia Contemporary Art Show Spring 2019 Edition」 (‘17) (Conrad Hong Kong / 香港)

2018 「OSAKA ART FES 2018」 (阪神百貨店 / 大阪)

「Materials & Expression」 (Space31 / 兵庫)

「ザムザ 2018 〜虫によせて〜」 (HRD Fine Art / 京都)

2017 「学園前アートフェスタ 2017 - メメント・森 -」 (浅沼記念館 / 奈良)

「Big Sensation」 (gallery Den mym & AIR 南山城村 / 京都)

2016 「2kw gallery」 (2kw gallery & 2kv58 gallery / 大阪)

「公州国際芸術祭」 (大田 / 韓国)

「11+29 BISEN 創立 35 周年記念・教員 + 卒業生作品展」 (大阪美術専門学校 / 大阪) 「寺島みどり・冬耳 二人展 - ヤミー -」 (HRD Fine Art / 京都)

2015 「liquid section」 (2kw gallery / 大阪)

「高尾小フェス」 (‘12’ 13) (旧高尾小学校 / 京都)

他、国内外において展覧会多数開催 (2001〜)

textile

2015 SS 「砂のクジラ図」

2012 SS 「SEIGI-NO-MIKATA」

2010・11 AW 「MEXICO」

* RBTxCO (<https://www.rbtco.com>) とのコラボレーション企画

mural

2021 民宿げんたろう屋 (野沢温泉村 / 長野)

2019 RBTxCO studio (大阪)



“ let's sing being with calm”
35.5x35.5(cm)
acrylic, wood panel 2022



“ 流量を飲み込む愛”
71x74.5(cm)
acrylic, wood panel 2021



“ pageant 5”
64x50.5(cm)
acrylic, wood panel 2020

飯山市出身、ベルリン在住アーティスト。人間社会を包み込むような見渡す限りの山々と森林セラピーに代表される特別な癒しのエネルギーに満ちた豊かな自然環境を身近に触れながら育つ。いにしへの神道の精神や目に見えないものを尊ぶところ、仏教哲学などを生活の中から学び、世界の古代文明やアートにインスパイアされ絵を描き始める。直感的な感覚を大切に物事と向き合い、力強くもやわらかい女性的なラインと日本人的な色彩・バランス感覚をベースに、生命のもつ純粋なエネルギーや自然、原始的感覚への回帰を筆先に込めている。

2011年にドイツ・ベルリンに移住。以降、フリーランスアーティストとしてベルリンをはじめヨーロッパ、ニューヨークなど様々なロケーションで作品展示やライブペインティングパフォーマンス、即興音楽家とのコラボレーションによる即興墨絵パフォーマンス、サウンドパフォーマンス、ワークショップ開催など様々な活動を通し、自身の中にある更なる潜在的な感覚を探求しながら、表現を通じてメッセージを発信し続けている。

また、様々な国のバックグラウンドを持つ人々とのコラボレーションワークを精力的に行うことで互いに学びあうとともに、自身の日本人としてのアイデンティティ・精神性をより深めその表現を通してより太く世界と結びつき、地球と祖先への敬意を今に還元する。





Spirits of bloomig : A Dance of Spring
: Acrylic on Canvas 100×80cm / 2023

美術館企画展及びギャラリー展入館者数(平成 20 年度以降)

年 度	企 画 名	展示期間(開館日数)	入館者数
H20 2008 開館 299 日 入館 8,035 人	●木原正徳・野口俊文 二人展 ―郷土出身画家の近作を中心に―	6/28～8/17(44 日)	1,567 人
	○ギャラリー展 柳澤秀紀イラスト原画展	10/1～11/3(30 日)	2,918 人
	○長谷川青澄ギャラリー展 ―故郷に残された小品を中心に―	11/7～11/27(18 日)	686 人
H21 2009 開館 300 日 入館 6,088 人	○佐藤武造ギャラリー展	4/14～7/8(74 日)	1,143 人
	○ギャラリー展 飯山北高校美術部展	9/5～9/17(11 日)	228 人
	●五郷分校の作家たち ～廃校をアトリエとした7年～	9/22～11/3(38 日)	2,810 人
H22 2010 開館 299 日 入館 8,128 人	○小林起一ギャラリー展	4/13～7/15(81 日)	1,025 人
	○ギャラリー展 北信濃の四季写真展 ―関修が写すふるさと―	7/17～8/22(32 日)	984 人
	○ギャラリー展 城南・城北中学校美術部展	11/13～12/19(32 日)	531 人
	●北信濃に原風景を見た美術家たち	9/4～11/7(56 日)	4,282 人
H23 2011 開館 274 日 入館 7,300 人	○ 画人長谷川青澄の世界展 ―珠玉の院展出品作品を中心に―	4/28～5/29(28 日)	952 人
	○ギャラリー展 奥信濃の自然と人 ―池田春男写真展―	4/28～5/29(28 日)	952 人
	○ギャラリー展 子どもたちへ展―碓井昭男 作陶展―	7/5～8/3(26 日)	825 人
	○ギャラリー展 書家 金木寿遷 ―行雲流水、書一筋の道― 遺墨展	8/7～9/11(31 日)	867 人
	●箕口博展 虚の世界に遊んだ人	9/17～11/6(44 日)	3156 人
	○ギャラリー展 新収蔵品展	12/20～1/13(17 日)	39 人
	○ギャラリー展 城南・城北中学校美術部展	1/15～2/15(27 日)	216 人
H24 2012 開館 300 日 入館 6,354 人 H25 2013 開館 299 日	○ギャラリー展 川口和平写真展 ―奥信濃 みゆき野四季光彩―	4/29～5/27(25 日)	370 人
	○ギャラリー展 ―千曲みずゑ会 20 周年記念展― ふる里光彩	7/12～7/26(13 日)	115 人
	○ギャラリー展 青木勇治個展 ―これから―	7/28～8/25(25 日)	822 人
	●北信濃逍遙の画家たち ―生きること描くこと― 市内在住の画家7人	9/8～11/4(50 日)	2595 人
	○ギャラリー展 城南・城北中学校美術部展	11/11～12/16(31 日)	331 人
	○ギャラリー展 “そのとき”をうつす―山本直治が飯山に通った理由―	4/2～4/27(20 日)	960 人
	○ギャラリー展 新幹線開業前イベント交流の歴史と鏡展	5/1～6/16(41 日)	648 人
	○ギャラリー展 リアルイラストくらぶ展 アマチュアアーティストたちの奮闘記	6/23～7/7(13 日)	283 人
	○ギャラリー展 小林野々子「月あかりとシメリケの国展」	7/28～8/25(25 日)	740 人
	●一祈りの風景― 柴田長俊展	9/7～11/4(51 日)	2187 人
	○ギャラリー展 城南・城北中美術部展	11/10～12/15(31 日)	520 人
	○信濃美術館移動展	12/17～12/26(9 日)	172 人
H26 2014	○ギャラリー展 追悼 岩上隆静展 千曲川への思い	4/15～6/1(42 日)	980 人
	○ギャラリー展 藤巻翔写真展 Shadows On the Trails	7/19～8/23(31 日)	1099 人
	●ガジン長谷川青澄没後 10 年記念展 わたしは売るための絵は描かない	9/20～11/9(44 日)	1797 人
	○ギャラリー展 城南・城北中学校美術部展	11/16～12/21(31 日)	379 人
H27 2015	●Beyond the paper やまふところ和紙 齋藤一郎展	4/18～6/28(62 日)	1846 人
	○ギャラリー展 栗田貞多男写真展	9/19～10/16(44 日)	1381 人
	○ギャラリー展 城南・城北中美術部展	10/18～11/8(19 日)	585 人
H28 2016	●駒村久彌展―画業 70 年の軌跡―	9/3～10/30(50 日)	2270 人
	○ギャラリー企画展 馬場剛史挿絵作品展	11/4～12/4(28 日)	556 人

	○特別展 長谷川青澄生誕 100 年記念展	11/3～2017/4/20	1249 人
	○城南・城北美術部展(文化交流館なちゆらにて展示)		不明
	○安原半田展	2/18～3/20(27 日)	244 人
H29 2017	●—この人なくして白隠なし— 正受老人と白隠禅師展	8/2～9/10(35 日)	2280 人
	●中川岳二展 ～木々の色々～ wooden colors	9/16～11/12(50 日)	5418 人
	○小黒三郎組み木館ズートピア信州展	9/16～11/12(50 日)	〃
	○城南・城北美術部展(文化交流館なちゆらにて展示)	12/9～12/16(7 日)	不明
H30 2018	○学校にある作品あれこれ展	7/7～8/19(38 日)	587 人
	●米林雄一彫刻展 一宇宙への眼差し—	9/1～11/4(65 日)	2261 人
	○城南・城北美術部展(公民館市民ギャラリーにて展示)	10/27～11/11	不明
	○佐久間雲窓展	3/2～4/7(32 日)	351 人
H31 2019	○こぶしの会 30 周年記念展	4/17～5/6(17 日)	374 人
R1	○伝統工芸士展	7/6～7/7(2 日)	130 人
	●木原正徳展 一ひとかたち《野に還る》—	9/1～11/4(56 日)	2242 人
	●信濃美術館移動展	11/23～12/8(14 日)	254 人
	○小橋城 写真展 鍋倉の森	2020 1/8～3/4	557 人
R2 2020	○伝統の技 工芸作家 3 人展	8/30～9/6(7 日)	248 人
	○河野文夫展 在りし日の記憶	9/29～ 3/31(152 日)	1598 人
	●正受老人 300 年遠諱記念展	R3 に延期	—
R3 2021	●正受老人 300 年遠諱記念展	7/31～9/12	609 人
	○飯山市仏壇を支えた仏師たち	7/31～9/12	609 人
	○伝統の技 工芸作家 3 人展 (令和 4 年に延期)	9/18～10/31	—
	○佐藤武造展没後 50 年記念展プレイベント	9/18～年度内	2891 人
R4 2022	○河野文夫が描く梁塵秘抄の世界	4/20～7/3(63 日)	663 人
	○伝統の技 工芸作家 3 人展	6/1～7/3(29 日)	462 人
	●佐藤武造没後 50 年展 郷里に愛された作品たち	7/9～8/27(43 日)	986 人
	●紙宮 和紙作家 森田千晶展 紙宮	9/3～11/20(68 日)	2806 人
R5 2023	○北信濃伝統工芸展	6/2～7/2(31 日)	599 人
	●岩上隆静没後 10 年展 水彩画に込めた故郷への想い	7/8～9/10(65 日)	1570 人
	●星野秀樹写真展 木々の集いに誘われて	9/16～11/26(72 日)	2653 人
R6.2024	●白隠禅師複製画展		
	●猪瀬清四郎彫刻展		
	●長谷川清張没後 20 年展		
	○長野県立美術館移動展		
	○奥信濃伝統工芸展		

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

※2023年1月31日現在

No	作家名	種別		出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
1	青木勇治	絵画	油彩	飯山市	長野市		H24 個展		—
2	池田春男	写真	人物/風景	飯山市	神奈川県		H23 個展		—
3	いとうまき	絵画	イラスト	飯山市	同		H17 個展		—
4	上野英樹	絵画	油彩等	飯山市	東京都		H30 グループ		—
5	内田寛	絵画		名古屋市	同	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ H17 個展	五郷研修館使用	—
6	浦野吉人	絵画	油彩等	飯山市	長野市	H13 浦野吉人展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
7	碓井昭男	工芸	陶芸	飯綱町	同		H23 個展		—
8	岡本邦治	絵画		飯山市	東京都				—
9	小黑三郎	工芸		東京都	倉敷市		H29 個展		—
10	含翌会	絵画	日本画	—	—	H11 含翠会展		長谷川青澄一門	—
11	北岡康隆	絵画	日本画	中野市	同				—
12	木原正徳	絵画	油彩	飯山市 太田	山形県	H16 飯山の美術家展 H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち R1 ひとかたち—野に還る—			有
13	栗田貞多男	写真	自然風景	長野市	同		H27 個展		—
14	小橋城	写真	自然スポーツ	東京都	千葉県				—
15	小林敬一	写真		飯山市常盤	同				—
16	小林野々子	絵画	イラスト等	長野市	同		H25 個展		—
17	小林宏	絵画	日本画	飯山市木島	山梨県	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
18	駒村久彌	絵画	油彩	飯山市	同	H12 駒村久弥展 H16 飯山の美術家展 H28 一画業70年の軌跡—			有
19	小山オサム	絵画	油彩	飯山市	静岡県	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち	H14 個展		有
20	齋藤一郎	絵画	和紙絵画	飯山市 岡山	千葉県	H11 斉藤一郎展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
21	酒井和子	絵画	水墨	飯山市柳原	東京都		H18 個展		—
22	佐々木晴香	絵画等	アクリル等	飯山市	ドイツ				—
23	関修	写真	人物/風景	飯山市	同		H22 個展		—
24	関智生	絵画		奈良県	名古屋市		H17 個展		—
25	瀬島匠	絵画		広島県因島市	東京都	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
26	高橋まゆみ	—	創作人形	長野市	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
27	滝純一	絵画	テンペラ等	木島平村	福岡県	H16 飯山の美術家展		飯山北高校卒業	—
28	田窪恭治	風景美術		愛媛県今治市	習志野市			H26飯山市内菓子店壁画等	—
29	田中渉	絵画	油彩	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
30	千坂経悦	陶芸		宮城県	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
31	冬耳 (中川 健)	絵画	アクリル	京都府	飯山市			2023年飯山市に移住	—
32	中川岳二	木工		埼玉県	中野市	H29 中川岳二展 木々の色々			—
33	野口俊文	絵画	油彩等	木島平村	長野市	H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち		飯山北高校卒業	— —

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

※2023年1月31日現在

No	作家名	種別		出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
34	長谷川豊	工芸	陶芸	東京都	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
	馬場剛史	絵画		中野市	塩尻市		H15 個展		
35						H28 個展			
36	原田卓三	絵画		愛知県	大阪府	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
37	藤岡牧夫	絵画		木曽谷	東京都				—
38	藤巻翔	写真	アウトドア フォトグラファー	飯山市	神奈川県		H26 個展		—
39	星野 秀樹	写真		福島県	飯山市			2015年飯山市に移住	—
	松澤芳宏	絵画	油彩等	飯山市 静間	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展			—
40									
41	丸山高司	絵画	日本画	飯山市	同		H17 個展		—
42	丸山東子	絵画	日本画	サハリン 飯山育ち					—
43	宮本純夫	絵画		中野市	同				—
44	森川賢道	工芸	鍍金/茶道具	須坂市	京都府				—
45	森田千晶	和紙作品		埼玉県	同	R4 紙宮 和紙作家 森田千晶展	R4 個展	和紙の仕事大賞	—
46	山田一道	絵画	アクリル	中野市	同				—
47	山田真巳	絵画	日本画	東京都	同				有
	柳沢京子	絵画		北佐久郡 浅科村	長野市				—
48									—
	柳澤秀紀	絵画	リアルイラスト	長野市 (旧豊野町)	同		H15 個展 H20 個展		
49									
	吉越隆師	絵画	日本画 水墨画	飯山市常盤	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展			—
50									
51	米林 雄一	彫刻		東京都	信濃町	H30 米林雄一展			—
52	鷺森秀樹	絵画	油彩	飯山市					有

作家一覧【物故】

* 作家名50音順

※2023年1月31日現在

No.	作家名	種別		出身地	活動拠点	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
1	相原求一朗	絵画	油彩	川越市	同	H10 相原求一朗展 H18 相原求一朗展		遺族川越市在住	有
2	猪瀬清四朗	彫刻		飯山市静間	東京都	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
3	岩上隆静	絵画	水彩	飯山市	同	H14 岩上隆静展 H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展	H26 追悼展		有
4	岡田千春	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展		遺族飯山市在住	有
5	岡登 貞治	絵画	油彩	飯山市	東京都			常設展示	有
6	小野沢健一	彫刻	木造	飯山市	神奈川県	H16 飯山の美術家展		H26. 5. 31逝去	有
7	大塚可南	書道	—	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
8	金木寿遷	書道	—	飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H23 個展 H23 新収蔵品展	遺族飯山市在住	
9	川口昇	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展			—
10	川口和平	写真		飯山市	長野市		H24 個展		—
11	河野文夫	絵画	油彩	佐賀県	野沢温泉村	H15 河野文夫展			有
12	岸田陸象	彫刻	仏像	飯山市				遺族埼玉県在住	—
13	児玉果亭	絵画	日本画	山ノ内町					—
14	小林起一	コンテプチュアル		飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H22 追悼展 H23 新収蔵品展		有
15	佐久間雲窓	絵画	日本画		飯山市			飯山藩士の子息	—
16	佐藤武造	絵画	水彩/漆画	飯山市	代々木区東京都	H12 佐藤武造展 R4 一郷里に愛された作品たち—	H20	遺族東京都在住	有
17	武田雲室	絵画	日本画					市内光蓮寺出身	—
18	武村次郎	絵画	油彩	横須賀市				飯山の風景画多数制作	有
19	寺瀬黙山	彫刻	木造/乾漆	飯山市	中野市			遺族中野市在住	有
20	白隠	絵画	禅画	駿河国	同	H12 特別企画展白隠禅師		正受庵で修業	—
21	長谷川青澄	絵画	日本画	飯山市	東大阪市	H9 長谷川青澄展Ⅰ・Ⅱ H10 長谷川青澄展Ⅲ H11 含翠会展（青澄画塾展） H16 飯山の美術家展 H17 画人長谷川青澄追悼展 H19 長谷川青澄挿絵原画展 H23 画人長谷川青澄の世界 H26 没後10年記念展	H16 個展 H20 個展 H23 新収蔵品展	遺族東京都在住	有
22	本多焦風	絵画	日本画					飯山に疎開	有
23	松田暢夫	絵画	油彩	飯山市	大町市				—
24	村山弘	絵画	油彩	飯山市	名古屋市		H23 新収蔵品展		有
25	三ツ井愛之輔	絵画						飯山中学教員	—
26	宮澤鉄夫	絵画	日本画	飯山市	東京都	H9 宮澤鉄夫企画コーナー			有
27	箕口博	彫刻	木造	飯山市		H23 箕口博彫刻展	H19 個展 H23 新収蔵品展	遺族滋賀県在住	有
28	山本直治	絵画	油彩	大阪府	大阪府			飯山の風景画多数制作	有
29	森本香谷	絵画						飯山中学初代美術教師	(有)
30	山田晃	絵画	水彩	中野市				—	
31	横井弘三	絵画	油彩	飯田市					有
32	柴田長俊	絵画	日本画	上越市	軽井沢町	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち H25 祈りの風景柴田長俊展		飯山北高校卒業 2022/1 死去	有